

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	上北地方小学校教育研究会 情報・視聴覚部会			代表者名	石山 宏一
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	三沢市立上久保小学校	連絡先電話番号	0176-53-3903
担当者役職	校長	担当者氏名	石山 宏一	連絡先E-mail	
住所	033-0041 青森県三沢市大町一丁目3-9				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	三沢市教育委員会	連絡先部署	学校教育課		
担当者氏名	佐伯 仁	連絡先電話番号	0176-53-5111	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	デジタル・シティズンシップ指導者養成事業		
概要	児童・生徒が積極的かつ安全にデジタル技術を活用し、優れたデジタル市民になるために必要な資質・能力を養うことを目的とする。デジタル端末やインターネットなどを活用する上で、各校が抱える課題やトラブルに関する情報を共有する場を作り、デジタル・シティズンシップ教育推進のためのプログラムの企画や指導方法についてご助言をいただきたい。				
支援を求める分野	教育情報化/情報教育				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年7月23日	支援・助言&講演(実地)	10時00分	15時30分	60
				活動時間(分)	270

2-2. 派遣場所	会場名	三沢市公会堂	最寄駅	三沢駅
	所在地	三沢市桜町1丁目6-35	最寄駅からの交通手段	バス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤村 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	当初予定していなかった生成AIについても、デジタルシティズンシップ教育と関連付けながらどのように取り組んでいくのかご教授いただいた。 デジタル・シティズンシップ教育と情報もらるる教育について、これまでの経緯などを含め詳しく学び、参加者の理解や意識が高まった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	21人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	21			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	自律的にICTを活用できる児童・生徒を育成するために、 ・デジタル・シティズンシップ教育や情報モラル教育について理解が曖昧な部分がある。 ・具体的な指導内容や指導方法について、不明な点が多々ある。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	教師 ・デジタル・シティズンシップ教育や情報モラル教育についてのより深い理解 ・ワークショップによる具体的指導方法の習得 児童・生徒 ・デジタル社会で生きるための必須のスキルの習得 ・将来の新たな機器やサービス、あるいは危険の出現に対しても適切に対応できる資質・能力の育成

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	講演① 生成AI 生成AIの仕組み学習での活用事例を学んだ。生成AIを使う場合はファクトチェックが必要であることや最終的な判断はあくまでも人間がすべきことなどの内容で講演いただいた。 講演② デジタル・シティズンシップ教育と情報モラル教育 デジタル・シティズンシップ教育と情報モラル教育は対立概念ではなく、情報モラル指導実践キックオフガイドなどにもデジタルシティズンシップが唱えるICTの積極的活用がすでに示されているなど、これまでの考え方を総括して説明があった。 ワークショップ コンセンサスゲーム「悪いことにも順位がある」を活用し、実際に話し合いを体験。同様に授業で使える資料等の紹介もあった。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	デジタル・シティズンシップと情報モラル教育の考え方への理解が深まると同時に、児童・生徒にどのように考えさせていけばよいのか、見通しをもつことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演(抜粋) ・生成AI、情報モラルともに、児童が自立的に適切に判断する力を身に付けるのが重要であることが印象に残りました。 ・「〇〇するな」ではなく「適切に判断する」ために、今後今日学んだことを子供たちの指導に活かしたい。 ワークショップ(抜粋) ・「ネット社会の歩き方」等たくさんの資料を知ることができたので、同校の先生方に紹介しながら活用していきたいです。 ・ワークショップを通して人の感じ方はこうも違うんだと、わかり、これからの指導の在り方を見直す必要性を感じました。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	・本児童生徒へのデジタルシティズンシップ教育の具体的なプログラムと実践的な指導方法について策定する。 ・デジタル・シティズン教育の年間指導計画を作成し、各小学校へ情報提供提供する。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

